

AI 検索時代に向けた統合ソリューション「Adobe Brand Visibility」を発表

- Adobe Brand Visibility は、Semrush の AI 可視性インテリジェンスと、アドビのエージェント型コンテンツ最適化機能を組み合わせた初の統合型ソリューションです。企業やブランドのコンテキストを深く理解し、AI 検索におけるプレゼンス向上と顧客エンゲージメントの強化を実現
- マーケターは、実際の利用に基づく約 3 億件の AI 検索プロンプトを収録した世界最大規模のグローバルデータベース、オーディエンスリーチデータ、競合他社とのシェアオブボイス (SOV) 比較、および自社チャンネルに関するインサイトを活用し、ChatGPT、Google AI モード、Microsoft Copilot、Perplexity AI などの主要プラットフォーム上における、自社ブランドの表示状況を可視化
- Adobe Brand Visibility は、AI によるインサイトをコンテンツ最適化のアクションにつなげ、人と AI エージェントの双方に最適なデジタル体験を提供するクローズドループ型の仕組みにより、ビジネスパフォーマンス向上を支援

※当資料は、2026 年 6 月 17 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2026 年 6 月 18 日】

アドビ (Nasdaq: ADBE)（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、企業が AI プラットフォーム上で自社ブランドの可視性を高め、顧客に信頼され、選ばれることを支援する新たなソリューション「[Adobe Brand Visibility](#)」を発表しました。本ソリューションは、見込み客の獲得やエンゲージメントから、コンバージョンの促進、長期的な顧客ロイヤリティの構築に至るまで、企業の顧客ライフサイクル全体の管理・運用を簡素化するエンドツーエンドのエージェント型

AI システムである [Adobe CX Enterprise](#) の一部として提供されます。

Adobe Brand Visibility は、AI チャットサービスやブラウザを通じて製品を発見・評価する消費者が増える中、企業が消費者の関心を獲得し、ブランドの存在感を高めることを支援します。アドビの最新の調査によると、この分野での成長は著しく、2024 年 10 月から 2026 年 5 月にかけて、米国の小売サイトへの AI トラフィックが 1,324% 急増しました。旅行業界では、同期間に AI トラフィックが 2,215% 増加しています。

アドビの顧客体験オーケストレーション事業部門担当プレジデントのアニール チャクラヴァーシー (Anil Chakravarthy) は、次のように述べています。「顧客が企業の web サイトを訪問する前に AI ツールとやり取りすることが一般的になりつつある現在、ブランド可視性はこれまで以上に重要な意味を持っています。アドビはマーケティング変革のあらゆる時代において、企業が顧客に発見され、選ばれるための支援を行ってきており、Adobe Brand Visibility により、企業がさまざまな AI プラットフォーム上で自社の影響力を拡大するための包括的なソリューションを提供します。Semrush の買収完了後、機能統合を迅速に進めており、初期のお客様からの需要は予想を上回っています。」

Adobe Brand Visibility は、Adobe LLM Optimizer の業界をリードする機能と Semrush の AI 最適化機能を組み合わせた、生成エンジン最適化 (GEO) のための包括的なソリューションです。例えば旅行業界において、旅行計画に AI ツールを利用する消費者が増える中、ChatGPT で競合他社が推奨されているケースがあります。企業は、Adobe Brand Visibility が提供する、世界最大規模の実際の利用に基づく AI 検索プロンプト約 3 億件を活用することで、自社がどのプロンプトで優位性を持ち、どのプロンプトで機会損失が生じているかを正確に把握できます。さらに自社チャンネルから得られるファーストパーティデータと組み合わせることで、ChatGPT、Google AI モード、Microsoft Copilot、Perplexity AI における言及頻度やオーディエンスへのリーチから、競合他社とのシェアオブボイス (SOV) の比較や不足しているコンテンツに至るまで、自社ブランドがどのように見えているかの全体像を把握できます。その後、AI エージェントは優先度の高い改善提案を提示し、数分で内容の更新を反映できるほか、ツール上でその効果を直接測定可能です。さらに、アドビの分析

ソリューションとの連携により、あらゆる GEO 施策を、予約実績、購入見込みのパイプライン、売上に結びつけて評価することが可能で、これらすべてを単一のワークフローで実現します。

Adobe Brand Visibility は、企業に以下の機能を提供します。

- **Semrush のデータを活用した可視性インサイト**：Adobe Brand Visibility は、Semrush のデータを直接取り込み、AI プラットフォームにおけるブランドのプレゼンスを包括的に可視化します。これには、その企業が言及された頻度やオーディエンスの属性（ブランド名を含む LLM の回答を個人が閲覧した回数）に加え、パフォーマンスの高いトピックやプロンプトに関する情報を提供します。
- **プロンプト戦略**：AI プラットフォーム全体で注目を集めているトピックやプロンプトに加え、それらのトピックにおいて高い可視性を獲得しているブランドを包括的に把握することで、競合他社がシェアオブボイス（SOV）を獲得する前に、自社が最適化すべき関連領域を特定できます。
- **競合ブランドとの比較**：自社ブランドと競合他社の比較を容易に行えるほか、どのような領域で引用され、どれくらいの頻度で言及されているかを確認し、言及履歴の比較を行うことができます。
- **自動最適化**：Adobe Brand Visibility の AI エージェントは、優先度の高い改善提案を提示し、それらを承認に基づいて即座に実行し、数分でエッジ上で最適化を行います。大規模言語モデル（LLM）は常に最新のブランドメッセージ、変更された自社コンテンツを参照でき、顧客体験も同時に向上します。さらに、すべての最適化は測定可能なビジネス成果に結び付けられます。
- **SEO インテリジェンス**：既存の SEO 基盤は、AI 検索における可視性向上においても重要な役割を果たします。Adobe Brand Visibility は、17 年以上にわたり蓄積された 285 億件のキーワードと 43 兆件のバックリンクからなる Semrush の比類のない SEO データを活用し、ブランドオーソリティ（検索上の評価や信頼性）がどのように AI による引用に繋がられるか、またどのコンテンツへの投資が必要か提示することで、検索と AI の両チャネルにおける機会損失を同時に解消します。

Adobe Brand Visibility は、スタンドアロンアプリケーションとして、あるいは [Adobe Experience Manager](#)（エージェント型コンテンツおよびアセット管理システム）とのネイティブ統合として活用でき、web 体験やキャンペーンコンテンツからデジタルアセット、コマースカタログに至るまで、ブランドが保有するコンテンツ基盤全体を、人間のオーディエンスと AI の双方に最適化できるよう支援します。また、アドビの一連のブランド可視性向上ソリューションは、継続的な運用モデルとして機能します。企業は、AI 主導の発見の接点で自社がどのように表示されているかを把握し、ブランドコンテキストに基づいたコンテンツや体験を生成し、共通の基盤から人間のオーディエンスと AI システムの双方にリーチし、あらゆるインタラクションから継続的に学習してパフォーマンスを向上させることができます。これらはすべて、顧客体験のフライホイール（顧客理解、コンテンツ制作、配信、学習を循環させ、体験の改善を継続的に加速させる仕組み）の一部です。AI エージェントと人間の協働によって実現されるアドビのブランド可視性向上ソリューションは、利用を重ねるたびにその効果を高め、企業の競争優位性を継続的に強化します。

■「アドビ」について

アドビは創造性、生産性、そしてパーソナライズされた顧客体験を実現する革新的なプラットフォームとツールを提供し、-Empowering everyone to create- すべての人が創造力を発揮できるよう支援してまいります。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.